



きこえ・ことばの教室だより

令和7年 第4号
千葉市立院内小学校

暦の上では、秋も中盤。やっと涼しい風を感じるようになりました。外での活動も無理なくできる日は限られるかもしれません、スポーツの秋です。体力をつけて、元気に前期を締めくくり、楽しく後期をスタートできたらと願います。

養護教諭連絡会

台風15号の影響により、急遽紙面開催への変更となりました。

ご参加を予定してくださった先生方にはご迷惑をおかけいたしました。

開催にあたり、いただいたご質問とその回答を一部ご紹介いたします。



○ご家庭の送迎が難しい場合は？

→状況に応じてご対応いたします。ご相談につないでいただければ、ご家庭でできるワンポイントアドバイスなども、いたします。

千葉市ファミリーサポートを使って通級しているケースもあります。

○就学時健康診断を経て、通級につながるには？

→昨年度より導入された相談希望表を教育委員会教育支援課にご提出ください。

→冬休みに入る前までを目安に、こちらに連絡が入りますと、年度内最後の就学支援委員会に間に合いやすいです。新年度第1回の就学支援委員会は例年5月です。

特設 Classroom でのご質問受付は締め切りとさせていただきますが
閲覧は可能です。

引き続き、お電話等でお気軽にお問い合わせください。



注目!

円盤投げ 湯上 剛輝 選手 「聴覚障害を武器に」

連日、テレビでも放映されていた「世界陸上」。東京開催ということもあり、応援していた方も多いと思います。円盤投げ 日本代表として出場した湯上剛輝選手は生まれつき両耳に聴覚障害があり、左耳に人工内耳を着けています。湯上選手は試合本番、人工内耳を外しています。

“この「無音の世界」でスッと集中できるというのは他の選手にはない強みであり武器なんだと思います”

(本人談)



湯上選手は11月に開催されるデフリンピックへの出場も決まっており、
きこえの教室としても注目の選手です。みんなで応援しましょう！！

出典 TBS「東京2025世界陸上」

note 湯上 剛輝

いよいよ！

東京2025デフリンピック

Deaf(デフ)とは「聴覚障害」のこと。

オリンピック・パラリンピックはおなじみとなりましたが、パラリンピックに「聴覚障害の部」がないことにお気付きの方も多いはず。聞こえにくい・聞こえない人たちの国際大会は別にあり、それが「デフリンピック」です。

歴史は古く、来年は第100周年記念大会。そして日本での開催は初です。

この目でデファスリート(聞こえない・聞こえにくい競技者)の熱い戦いを観ることができる、めったにないチャンス到来です。

おとなりの国、韓国では、認知度90パーセントを越えるというデフリンピックですが、日本では、まだまだ認知度が低いといわれています。みなさん、ぜひこの秋、一緒に応援しましょう！

☆応援の仕方は、「サインエール」

拍手や、声援は、スポーツ観戦に欠かせないものですね。でも、聞こえない・聞こえにくい選手には、その声援は届きにくいものです。応援を届けるために、今回開発されたのが、「サインエール」です。

例)「大丈夫、勝つ！」

- ①右手を左むねにあてる。
- ②右むねにスライド、こぶしを握る。
- ③左手で繰り返す。
- ④両手のこぶしを前に突き出す。



☆大会の特徴

国際手話のほか、スタートランプや旗など「見える」情報保障が随所に施されています。

東京2025デフリンピック

日程: 2025年11月15日から26日まで

開会式11月15日(東京体育館) 閉会式11月26日(東京体育館)

競技は14日から。

参加: 世界70あまりの国と地域から約6000人の選手とスタッフが参加

競技: 陸上、バドミントン、バスケットボール、バーボール、サッカー、
自転車、ハンドボール、柔道、空手、水泳、卓球 など21種

参考: 大会ホームページ

<https://deaflympics2025-games.jp/>